

事務事業名	中国帰国者等生活支援事業(補助)		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	政策	開始	終了
H29作成課等名	福祉課	H29係等名	生活福祉係	H28担当課等名	福祉課	
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり			
	施策	36	生活困難者の自立及び支援			
目的	対象(誰・何を)	中国帰国者(国費帰国者、その配偶者、同伴家族)			指標名及び単位	28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	老後の安定した生活と、地域での生き生きとした暮らしを実現する			中国帰国者1世(国費帰国者、その配偶者、同伴家族)(世帯)	35
	向上させたい上位施策の成果指標	生活相談者数/人口(外国人を含む)(%)				
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績
	成果指標	日本語教室・交流会事業参加世帯数/中国帰国者1世帯数(%)			58	58
	成果指標	通訳・相談派遣(件数)			150	150
定性目標						
事業概要	1 給付金の支給事務を担当する支援相談員の委託 2 生活支援事業の実施 (1) 地域との交流事業 (2) 日本語教室の開催 (3) 自立支援通訳等の派遣 3 給付金の支給事務のための機器更新					
	1 人数 2 (1)開催回数 (2)開催回数 (3)派遣回数 (4)開催回数					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	1 支援相談員の設置 2 生活支援事業 (1)日本語教室 松尾・川路・上郷・山本 各教室月1回、松尾は夜間教室を別途月2回開催 (2)地域交流事業 (3)自立指導員、医療・介護等の支援通訳派遣事業 (4)生活支援及び生活相談事業			1 人数 2 (1)開催回数 (2)開催回数 (3)派遣回数 (4)開催回数		1 1人 2 (1) 72回 (2) 12回 (3) 168回 (4) 36回
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		5,396	5,035	4,542	0	(国)中国帰国者支援事業補助金(10/10) 3,489千円
国庫支出金		4,557	4,652	4,542		(国)中国帰国者支援事業委託金 1,270千円
県支出金						
起債						
その他						*翌年度精算あり。
一般財源		839	383	0		
人件費計(千円)②		715	715	715	0	
正規職員所要時間		200	200	200		
臨時職員所要時間						
総事業費①+②		6,111	5,750	5,257	0	
事業内容・目標達成状況の振り返り	日本語教室や地域交流事業は委託先の創意工夫により回数・内容ともに充実したものとなった。参加率も目標を大きく上回った。通訳派遣や生活相談も安定したペースで実施されている。					
改革改善の考え方	①問題点	中国帰国者の高齢化により、通訳・相談派遣の件数が増加が見込まれる。同時に、日本語教室や交流事業への参加率が年々低下していくことが予想される。				
	②改革提案	必要な時に、適切に通訳・相談員を派遣する。日本語教室や交流事業への参加率の状況を見ながら、委託先と事業内容及び経費の見直しを行う。				